

雄国沼湿原希少個体群保護林

希少-09

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 会津森林管理署
所在地	福島県 耶麻郡 北塩原村
面積	174.13ha
設定年	1973(S48)年
保護林の概要 (設定目的)	再生複合体が見られるよく発達した高層湿原で、ホロムイイチゴ、ヒオウギアヤメなどを多産し、当該地域では特に希少種が多い。国指定天然記念物にも指定されている。このため、希少種を多く含む高層湿原の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2010年、2015年、2020年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ミズナラ群落の生育地及び雄国沼湿原周辺の木道沿いにおいて調査プロットを計6箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	森林詳細調査について、過年度と比較し低木層の侵入が多く確認され、出現種数も増加していることから、湿原の乾燥化が進行しているとみられる。特に湿原の入り口付近の構成種及び出現種数の変化が著しい。湿原内に獣類(クマ)の足跡のようなものを確認。イノシシを目視。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。